

平成24年度年間授業計画(シラバス)

第3学年・算数

月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	・かけ算 ・時間と時こくの求め方	【算数への関心・意欲・態度】 知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。 【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。 【数量や図形についての表現・処理】 整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料を表やグラフに表したりする。 【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解する。
5	・わり算 ・円と球	
6	・たし算とひき算の筆算 ・暗算	
7	・あまりのあるわり算 ・大きい数のしくみ ・かたちであそぼう	
9	・かけ算の筆算(1) ・大きい数のわり算	
10	・長いものの長さのはかり方 ・小数	
11	・重さのたんいとはかり方 ・三角形	
12	・分数 ・□の式	
1	・かけ算の筆算(2) ・ぼうグラフと表	
2	・かたちであそぼう ・考える力をのばそう ・そろばん	
3	・3年のふくしゅう	
年間授業時数		175
授業の工夫	○ 子どもたちが主体的に問題に取り組めるよう、身近な問題を取り上げ、興味関心を持って取り組めるように授業を工夫する。 ○ 数や計算の学習ではタイルやドットを使用して、量の概念を大切にしながら数の仕組みや計算のやり方を考え、児童の学習の交流にも生かす。 ○ ドリル学習を取り入れ計算力の習熟を図る。 ○ 多様な考え方ができる問題については、多くの児童の考え方を生かして、集団解決する。	
評価について	○ 単元ごとのテストだけでなく、平素のプリントやノート、学習中の態度や発表などで評価する。	
学習方法(家庭学習)など	○ 計算を主としたドリル練習は、学習の基本であり、家庭学習としても年間を通して取り組ませる。 ○ 授業内容を確実に定着させるとともに、家庭学習の習慣化を図るため、家庭の協力を求める。	